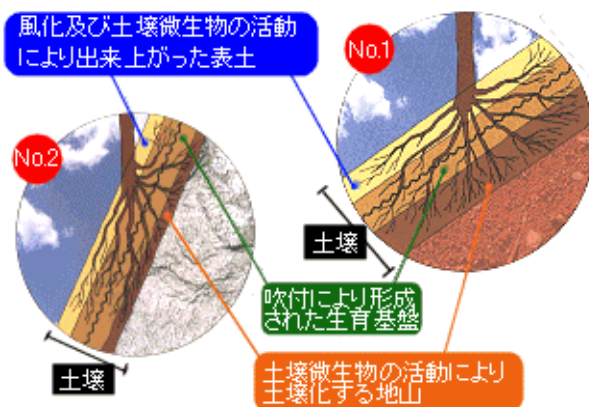


土壌菌工法は、国土交通省NETIS：新技術評価施工方式（Aタイプ）にて、  
**全国初で事後評価の承認**をいただきました。（2006年3月9日）  
 NETIS 登録番号：QS-980171

## ＜土壌菌を利用した永久緑化＞

当工法においては、微生物には植生に対し有効なもの・弊害となるものがある為、植生の良い場所・悪い場所での種々採取試料により、実験・分析・観察を繰り返し、長い間の試行錯誤の中から“有効土壌菌微生物群”を選別し、「有効土壌菌」と命名しました。



## ＜瘠悪地緑化＞

当工法は、＜強酸性 pH3 以下＞・＜強アルカリ性 pH8 以上＞・＜寒冷地＞・＜急勾配 1：0.3＞・＜岩盤 硬度 35mm 以上＞などの植生が困難とされている土壌への永久緑化を実現しています。

2001年3月施工 秋田県大曲市国道道路改築工事緑化試験

勾配	土壌酸度	土壌硬度	土質
1:1.0	2.6~3.4	平均 35mm	泥岩・強風化泥岩

右の写真は、極強酸性土壌の切土法面に、厚層基材 t=5、土壌菌工法 t=3、バイオ種子吹付 t=3 の3工種で試験施工を行った現場で、施工後2年経過した状態を見比べると、植生の差がはっきりと現れています。

また、他工法と比べて少ない厚さの吹付厚の施工を行っても、他工法以上の成果が実証されています。

